

小学生の夢

日本の義務教育は、小学一年生から中学三年生までの九年間です。義務教育の後、高校や大学には入学試験があります。特に大学の入試はとても難しいので、いい大学に入りたい高校生は、毎日朝から晩まで勉強しなければいけません。

受験生は、毎日学校の後で、塾で夜遅くまで勉強します。行きたい大学に入れなかった人の中には、塾で一年間勉強して、次の年にまた受験する「浪人」もたくさんいます。

このごろは、夜遅くひとりで電車に乗っている小学生をよく見ます。みんな疲れた顔で、テレビゲームをしたり、漫画や本を読んだりしています。こんな時間まで何をしているのでしょうか。

実はこの子供達は、塾で勉強しているんです。春に私立中学を受験するからです。公立中学には誰でも入れますが、私立中学には入学試験があります。そして、大学まで続いている有名私立中学を受験をする子供が毎年たくさんいます。塾で週に三日、午後六時から九時まで勉強して、家に帰って、それから塾の宿題をします。土曜日はたいてい模擬試験があつて、夏休みにも正月にも塾の授業があります。こんな毎日を小学四年生の時から始めるのです。

先週、子供達にインタビューをしに小学校へ行って、「今何が一番欲しい？」と聞きました。「時間」と答えた子供が一番多くて、遊ぶ時間より、ゆっくり寝る時間が欲しいと言っていました。そして、将来の夢については、「お金持ちになりたい」がトップでした。小学五年生の男の子は、「だからいい大学を出て社長か医者になるつもり。あ、これから塾に行かなきゃ」と言って、急いで帰って行きました。